

「medicina」第17巻 総目次

1980年 第1号～第13号

数字は通巻頁数，()内は号数，12号は臨時増刊特集号です。

〔今月の主題〕

心膜疾患の臨床(1)

心外膜の機能と構造	河合 祥雄・岡田 了三	6
心膜疾患の臨床	太田 怜	10

〈心膜疾患の診断〉

聴診と心音図	坂本 二哉	12
心X線—血管造影を含む	松山 正也	15
心電図	松尾 修三・橋場 邦武	20
心エコー図	藤井 諄一・他	24
RI	香取 瞭・金政 健	28

〈心膜疾患の主な病型〉

心タンポナーデ	鈴木 茂・新井 達太	30
急性心膜炎	宮里不二彦	33
収縮性心膜炎		
	沢山 俊民・鼠尾 祥三	36

〈先天性異常〉

心膜欠損症	柳沢 信子	40
心膜嚢胞	稲垣 義明・山崎 茂	45

〈二次性心膜炎〉

ウイルス性心膜炎		
	河合 忠一・琴浦 肇	49
結核性心膜炎	青柳 昭雄	52
腫瘍性心膜炎		
	中山 龍・秋田 穂東	54
全身性エリテマトーデスと心膜炎	柏崎 禎夫	56
尿毒症と心膜炎		
	秋沢 忠男・越川 昭三	58
粘液性腫	伊藤 敬・尾形 悦郎	61
心筋梗塞後症候群		
	安藤 譲二・安田 寿一	64

〈治療〉

心膜穿刺法	赤塚 宣治	66
心膜の外科		
	古賀 道弘・高木 博己	68

〈座談会〉

心膜疾患をめぐって		
	中村 芳郎・坂本 二哉	
	浅野 献一・太田 怜	70
今月の主題・理解のための10題		
	太田 怜	82

末梢性ニューロパチー(2)

末梢性ニューロパチーとは		
	祖父江逸郎	166

〈基礎知識〉

末梢神経の構造と機能	渡辺 誠介	168
末梢性ニューロパチーの病理(グラフ)	朝長 正徳	171

〈診断〉

分類	古和 久幸	175
主要徴候	安德 恭演・後藤 幾生	178
検査—電気生理学的検査と生検		
	鳥居 順三	180

〈頻度の多いニューロパチー〉

Guillain-Barré 症候群	濱口 勝彦	186
糖尿病性ニューロパチー		
	山村 安弘・鬼頭 昭三	188
手根管症候群	飯田 光男	192
変形性脊椎症	片山 宗一	194

〈随伴性末梢神経障害〉

尿毒症性ニューロパチー		
	宮原 正・平山 隆男	196
膠原病	広瀬源二郎	198
悪性腫瘍	本多 虔夫	200
ビタミン欠乏症		
	有馬 寛雄・井形 昭弘	203

〈中毒性末梢神経障害〉

アルコール		
	河野 裕明・高木 敏	206
ピンクリスチン	松岡 幸彦	208
シンナー	斎藤 豊和	210

〈遺伝性ニューロパチー〉

家族性アミロイドーシス		
	荒木 淑郎	213
Charcot-Marie-Tooth 病		
	福原 信義	216
遺伝性感覚性ニューロパチー		
	高須 俊明	219

〈最近注目されているニューロパチー〉

色素沈着，剛毛，浮腫，免疫グロ		
ブリン異常を伴う慢性多発性神経炎		
	西谷 裕	222
Neuralgic Amyotrophy		
	塚越 廣・栢沼 勝彦	224

〈座談会〉

末梢性ニューロパチーの診断とその限界		
	里吉宮二郎・広瀬 和彦	
	朝長 正徳・古和 久幸	226
今月の主題・理解のための10題		
	古和 久幸	236

肺の炎症性疾患—最近の動向(3)

肺の炎症性疾患の変遷と問題点		
	滝沢 敬夫	324
形態学からみた肺炎	山中 晃	326

〈診断〉

鑑別診断のすすめ方		
	伊藤 和彦・高納 修	329
起炎菌とその決定	松本 慶蔵	332
日和見感染—とくに <i>Pneumocystis carinii</i> 肺炎について		
	森 健・池本 秀雄	334

〈抗酸菌〉

粟粒結核の現状		
	岡安 大仁・児島 克美	340
乾酪性肺炎	青柳 昭雄	342
非定型抗酸菌症	山本 正彦	346

〈真菌と寄生虫〉

アレルギー性気管支肺		
------------	--	--

アスペルギルス症	伊藤 章	348
肺吸虫症	辻 守康	350

〈マイコプラズマとウィルス〉

マイコプラズマ肺炎		
	原 耕平・泉川 欣一	352
オウム病	河合 健・藤野 忠彦	355

〈膠原病とアレルギー〉

リウマチ肺臓炎		
	重松 信昭・松葉 健一	358
Goodpasture 症候群		
	荻間 勇・山本 保	361
過敏性肺臓炎	可部順三郎	364

〈反応性肺炎〉

尿毒症性肺炎		
	光永 慶吉・橋本 憲一	366
放射線性肺炎		
	吉田 稔・関 雅彦	368
薬剤誘起性肺臓炎	田村 昌士	372

〈その他〉

びまん性間質性肺炎		
	吉良 枝郎・荒木 高明	374
Fibrosing bronchiolitis		
	大久保隆男・他	377

〈治療〉

肺感染症に対する抗生物質		
最近の進歩	大崎 饒	381
肺結核の短期強力療法		
	今野 淳・萱場 圭一	384

〈座談会〉

肺炎の鑑別診断とその扱い方		
	滝沢 敬夫・谷本 普一	
	吉良 枝郎・金上 晴夫	386
今月の主題・理解のための10題		
	金上 晴夫	396

最近の腎疾患の基礎と臨床(4)

腎循環の特徴	杉野 信博	472
糸球体病変の病理所見	馬杉 洋三	474

〈腎疾患の病態〉

腎血管性高血圧	石井 當男	480
ネフローゼ症候群以外の糸球体病		
	変のとらえ方	
	土田 弘基	484
尿管障害—酵素活性の面から		
	遠藤 仁	490

一尿管透過性の面から

	藤本 守・内藤 和世	494
一成人の場合		
	富田 公夫・椎貝 達夫	498
一小児の場合	酒井 糾	502
間質性腎炎		
	酒井 紀・御手洗哲也	506

〈ネフローゼ症候群の臨床〉

原発性ネフローゼ症候群		
	稲毛 博実・東條 静夫	510
糖尿病性腎症	木田 寛	514
SLE 腎症	大藤 真・倉田 典之	516

中山 志郎・星野 孝 1260	Refractory anemia with excess of myeloblasts
朝長万左男 1208	Hairy cell leukemia
三好 勇夫 1211	リンパ球の形態
	T-cell, B-cell の走査電顕像
広瀬 優子・紺田 進 1214	悪性リンパ腫の分類—最近の傾向
若狭 治毅 1216	Immunoblastic lymphadenopathy
小島 瑞・阿部 正文 1218	血小板の形態
	ITP と血小板の kinetics
鯉江 捷夫 1222	Bernard-Soulier 症候群
山田 兼雄・稲垣 稔 1224	骨髓増殖性疾患と血小板の異常
大熊 稔 1226	座談会
	臨床家のための血液形態学
三輪 史朗・前川 正 1228	浦野 順文・高久 史麿
高久 史麿 1238	今月の主題・理解のための10題
	脾と胆道疾患 (9)
亀田 治男 1320	脾・胆道疾患の相関
石井 兼央 1222	日本における脾・胆道疾患の特徴
	病態生理
竹内 正・他 1324	脾外分泌機能とその調節
八田 善夫・他 1326	脾炎発生に關与する諸因子
大菅 俊明 1328	胆石の生成と胆汁の生化学
	診断のすすめ方
早川 哲夫 1332	急性脾炎の診断のすすめ方
	慢性脾炎の診断基準
本間 達二・長田 敦夫 1336	脾・胆道系の悪性腫瘍
久保 勝彦・田辺 正也 1338	胆石・胆嚢炎のみかた
松崎 松平 1342	脾ホルモン産生腫瘍の診断
遠藤 巖 1344	画像診断法とその限界
	経皮経肝胆道造影 (PTC)
土屋 幸浩・大藤 正雄 1348	内視鏡的逆行性胆道・脾管造影 (ERCP)
春日井達造 1352	脾・胆道疾患における血管造影
平松 京一 1356	X線 CT スキャンニング
木下 文雄・前川 全 1363	脾・胆道疾患の超音波診断
北村 次男 1366	新しい診断法
	アミラーゼアイソザイム測定とその意義
菅野 剛史 1370	脾癌の免疫生化学的診断
土屋 雅春・熊谷 直樹 1372	

脾生検—超音波画像ガイド経皮的脾生検を中心に	木村 健・山中 恒夫 1374
PFD	久保 保彦・桑原 靖道 1378
治療における諸問題	脾炎の薬物療法の現況
石井 裕正・高木 俊和 1380	胆汁酸による胆石溶解療法
桐生 恭好・船津 和夫 1382	silent stone の取り扱い方
武内 俊彦・宮治 眞 1386	胆嚢・胆管炎の抗生物質療法と手術適応
加藤 繁次 1390	胆嚢摘出後症候群
相馬 智 1392	座談会
	脾・胆道疾患診療の実態
本間 達二・菅田 文夫 1396	尾形 佳郎・石井 裕正
石井 裕正 1406	今月の主題・理解のための10題
	感染症—治療の実態 (10)
鳥飼 勝隆 1480	抗生剤の最近の進歩
	抗生物質の基礎知識
深谷 一太 1482	蛋白結合率
中野 重行 1484	薬物動態
	抗生物質の使い方
清水喜八郎 1490	えらび方
斎藤 玲 1492	使用量・使用期間
小林 譲 1496	臓器障害のあるとき
	起炎菌別の特異性
北原 光夫 1500	真菌症
	無芽胞嫌気性菌感染症
小林 章男・菅野 治重 1502	ウイルス感染症
武内 可尚 1505	寄生虫症
大友 弘士 1508	小児感染症としてのマラリア
大友 弘士・日置 敦巳 1512	リケッチア感染症
橘 宣祥 1516	クラミジア感染症
徐 慶一郎 1518	性病
岡本 昭二 1520	臓器感染症の治療法
	脳炎・髄膜炎
高瀬 貞夫・中村 正三 1522	扁桃炎・副鼻腔炎・中耳炎・外耳炎
古内 一郎・馬場広太郎 1526	肺炎
松本 慶蔵 1528	肺結核
青柳 昭雄 1531	細菌性心内膜炎
雨宮 武彦 1534	急性胆のう炎・胆管炎
佐藤 寿雄・高橋 涉 1537	消化管感染症
大貫 寿衛 1540	尿路感染症—とくにその捉え方
大沢 炯 1542	その他の治療法
	compromised host における治療
高橋 隆一 1550	好中球輸血
飯塚 敦夫 1552	α グロブリン製剤
藤井 良和 1556	座談会
	新しい感染症
清水 長世・大友 弘士 1560	藪内 英子・中村毅志夫

今月の主題・理解のための10題	中村毅志夫 1574
	高血圧症—最近の動向と展望 (11)
小町 喜男 1656	高血圧症の疫学—最近の成果
	成因と病態生理
家森 幸男 1660	遺 伝
竹下 彰 1662	食 塩
中村 圭二 1665	中枢神経系—調圧神経の中枢反射機序
三浦 幸雄 1670	カテコールアミン・交感神経系
	レニン・アンジオテンシン系
笹栗 学・荒川規矩男 1672	カリクレイン・キニン系
阿部 圭志 1674	プロスタグランディン
	内分泌因子
竹田 亮祐・森瀬 敏夫 1679	血行動態
柳沼 淑夫 1682	診断
	高血圧診断法の最近の進歩
田中 敏行・池田 正男 1684	血圧の経時的測定法と連続的測定法
栃久保 修・野田 和正 1686	血圧の日内変動と家庭測定
土屋 雅之 1690	腎血管性高血圧症
村山 猛男・河辺 香月 1694	副腎性高血圧
福地 總逸 1697	先天性副腎過形成と高血圧
遠藤 義晃・三浦 清 1700	妊娠性高血圧
猿田 享男 1703	治療
	病態に応じた降圧剤の選択
尾前 照雄・阿部 功 1707	境界域高血圧、収縮期性高血圧
飯村 攻 1710	降圧薬の臨床薬物動態
海老原昭夫 1712	α 遮断薬
三須 良史・久保 孝夫 1714	β 遮断薬
築山久一郎・大塚 啓子 1716	レニン・アンジオテンシン系阻害薬
宮森 勇・他 1719	カルシウム拮抗薬
草野 英二・浅野 泰 1722	高血圧の地域管理
旗野 脩一 1725	座談会
	高血圧の治療—最近の進歩を語る
猿田 享男・阿部 圭志 1728	築山久一郎・海老原昭夫
海老原昭夫 1738	今月の主題・理解のための10題
	内科医に必要な脳神経外科の知識 (13)
	脳神経外科はどう変わったか
北村 勝俊 2204	脳血管障害
	クモ膜下出血の診断
戸谷 重雄・小林 一夫 2206	破裂脳動脈瘤の自然歴
太田 富雄 2208	破裂脳動脈瘤と脳血管攣縮

破裂脳動脈瘤の手術—早期手術	水上 公宏・宇佐美 卓 2214
高久 晃・甲州 啓二 2216	
一意図的晩期手術 秦 才賢・他 2220	
手術適応—脳動静脈奇形 菊池 晴彦 2226	
—高血圧性脳内血腫	
中島健二・伊藤善太郎 2230	
—閉塞性脳血管障害 小野 博久 2234	
脳血管モヤモヤ病	
米川 泰弘・半田 肇 2238	
脳血管障害の血管造影	
—読影のポイント(グラフ)	
矢田 賢三 2242	
〈脳腫瘍〉	
各種脳腫瘍の頻度 野村 和弘 2248	
CT でどこまで診断がつくか	
小林 直紀 2252	
診断と予後—聴神経腫瘍	
松本 圭蔵 2256	
—脳幹部グリオーマ 米増 祐吉 2262	
下垂体腫瘍とホルモン	
魚住 徹・森 信太郎 2266	
グリオーマの治療	
高倉 公明 2270	
〈脊髄・脊椎疾患〉	
頸部脊椎症 角家 暁 2274	
脊髄腫瘍 阿部 弘 2278	
脊髄動静脈奇形 矢田 賢三 2282	
〈注意しておきたい疾患〉	
慢性硬膜下血腫 関野 宏明 2286	
正常圧水頭症 坪川 孝志 2290	
〈今日の治療〉	
三叉神経痛 岩隈 勉 2294	
顔面痙攣 近藤 明恵 2296	
脳浮腫 中川 翼 2300	
手根管症候群 橘 滋国 2302	
〈座談会〉	
知っておきたい脳神経外科の進歩	
小野 博久・高倉 公明	
小林 直紀・矢田 賢三 2304	
今月の主題・理解のための10題	
矢田 賢三 2314	
胸部X線写真の読み方	
正常像 松山正也・徳田 裕 (1) 90	
シルエット・サイン	
松山正也・徳田 裕 (2) 246	
実質性病変と間質性病変	
松山正也・甲田英一 (3) 404	
縦 隔 松山正也・甲田英一 (4) 572	
肺門部肺癌	
松山正也・江口研二 (5) 756	
肺野型肺癌	
松山正也・江口研二 (6) 908	
心臓・肺血管陰影のみかた	
松山正也・前田如矢 (7) 1079	
弁膜疾患 松山正也・前田如矢 (8) 1246	
先天性心疾患 (1)	
松山正也・原 典良 (9) 1412	
同 上 (2) 松山正也・原 典良 (10) 1580	
大動脈疾患	
松山正也・村松 準 (11) 1742	
心陰影の拡大	
松山正也・村松 準 (13) 2318	

演習・放射線診断学 CT スキャン読影のコツ

胆道系 荒木 力 (1) 98	
脾 臓 板井 悠二 (2) 254	
副 腎 古井 滋 (3) 410	
腎 臓 八代 直文 (4) 580	
骨 盤 吉川 宏起 (5) 764	
骨・筋肉病変 荒木 力 (6) 916	
神経放射線学	
頭部外傷 前原 忠行 (7) 1087	
脳血管障害 (1)	
八代 直文・前原 忠行 (8) 1254	
同 上 (2)	
古井 滋・前原 忠行 (9) 1420	
同 上 (3) クモ膜下出血	
吉川 宏起・前原 忠行 (10) 1588	
脳腫瘍 (1) 神経膠腫と転移性腫瘍	
八代 直文・前原 忠行 (11) 1752	
同 上 (2) 頭蓋内髄膜腫	
古井 滋・前原 忠行 (13) 2326	

プライマリ・ケア

私たちの見たアメリカのプライマリ・ケア (1)	
安田 勇治・岩崎 靖雄	
菊地 博・伊藤 清次	
鈴木 莊一・渡辺 淳 (1) 140	
同 上 (2)	
安田 勇治・岩崎 靖雄	
菊地 博・伊藤 清次	
鈴木 莊一 (2) 288	
多摩ニュータウンにおける	
メディカルプラン (1)	
小松 真・田中 恒男	
中村 弘夫・本郷 元夫 (3) 446	
同 上 (2)	
小松 真・田中 恒男	
中村 弘夫・本郷 元夫 (4) 615	
プライマリ・ケアへの提言 (1)	
—農村地域医療の実践から	
若月 俊一・本吉 鼎三 (5) 807	
同 上 (2)	
若月 俊一・本吉 鼎三 (6) 960	
救急医療を考える (1)	
熊田 正春・木村 勝直	
岡部 純一・安田 勇治 (7) 1126	
同 上 (2)	
熊田 正春・木村 勝直	
岡部 純一・安田 勇治 (8) 1292	
地域医療を考える (1)	
—上郷健康センターの活動に学ぶ	
宮原 伸二・本田 三郎	
永井友二郎 (9) 1458	
同 上 (2)	
宮原 伸二・本田 三郎	
永井友二郎 (10) 1622	
プライマリ・ケアの実践 (1)	
渡辺 淳・新野 稔	
本吉 鼎三 (11) 1794	
同 上 (2)	
渡辺 淳・新野 稔	
本吉 鼎三 (13) 2363	

目でみるトレーニング

大和田 隆・小林 武夫	
川上 澄 (1) 104	
休 載 (2)	
水上 公宏・他	
朝長 正徳・島田 英世 (3) 416	
水上 公宏・他	
朝長 正徳・島田 英世 (4) 590	
水上 公宏・他・高木 健三	
櫻林郁之介・島飼 勝隆 (5) 774	
水上 公宏・他・石川 英一	
松井 瑞夫・島田 英世 (6) 924	
水上 公宏・他・櫻林郁之介	
石川 英一・島田 英世 (7) 1094	
櫻林郁之介・石川 英一	
島飼 勝隆 (8) 1262	
朝長 正徳・水上 公宏・他	
井出 宏嗣・他 (9) 1428	
休 載 (10)	
長廻 紘・長谷川かをり	
朝長 正徳 (11) 1759	
休 載 (13)	

臨床免疫学講座／堀内 篤・他

免疫応答とそれに関与する細胞	
—細胞性免疫を中心に (1) 114	
免疫不全と疾患 (2) 262	
感染と生体防御反応 (3) 424	
免疫グロブリンと疾患 (4) 596	
免疫学的寛容と自己免疫疾患 (5) 780	
免疫と遺伝 (6) 932	
免疫複合体と疾患 (7) 1102	
移植と GVH 反応 (8) 1270	
母児間の免疫反応 (9) 1436	
補体とその異常 (10) 1596	
どのような免疫能検査が行われるか (11) 1756	
免疫抑制療法と免疫賦活療法 (13) 2340	

Laboratory Medicine

異常値の出るメカニズム／屋形 稔・他	
22. LH, FSH (1) 120	
23. 甲状腺ホルモン (2) 268	
24. コルチゾール (3) 430	
25. レニン・アンギオ	
テンシン・アルドステロン (4) 602	
26. カルシウム調節ホルモン (5) 784	
27. インスリン, Cペプチド (6) 938	
28. アンドロジェン (7) 1108	
29. エストロジェン,	
プロジェステロン (8) 1274	
30. プロラクチン (9) 1442	
31. バゾプレシン (10) 1602	
32. カテコラミン (11) 1770	
33. 消化管ホルモン	
—ガストリンとセクレチン (13) 2346	

老人診療のコツ／大友 英一

老化は乾燥の過程—脱水を忘れるな (1) 124	
不定の精神症状, 意識障害,	

神経症状—まず慢性硬膜下出血を 考える	(2) 272
肺炎は発熱のみで、 —無熱でも肺炎を疑え	(3) 434
鎮静剤は鎮生剤—投与量は慎重に	(4) 606
常に心不全を考える —すべては心不全へ	(5) 788
めまいは重篤な症状	(6) 942
発症不明の運動障害—動作緩慢、自 発性低下はパーキンソン病を疑え	(7) 1112
無症状でも心筋梗塞	(8) 1278
診断のむずかしい胃腸疾患 —不定の胃腸症状は？	(9) 1446
ばけの対策 (1)	
—ばけはなごせこるか	(10) 1606
同上 (2)—ばけの診断と治療	(11) 1774
老年者の黄疽は重篤 —まず悪性腫瘍を考える	(13) 2350

図解病態のしくみ

消化器疾患／松枝 啓	
9. 下痢 (2)	(1) 130
10. 同上 (3)—急性下痢	(2) 276
休 載	(3~10)
11. 過敏性大腸症 (1)	
—病態生理・その1	(11) 1778
12. 同上 (2)—ストレスの意義	(13) 2354

新しい栄養学の知識

生体リズムと栄養 林 伸一	(1) 136
休 載	(2)
蛋白質の特異動的作用 林 伸一	(3) 442
休 載	(4)
Dietary fiber 印南 敏	(5) 798
ストレスと栄養 鈴江緑衣郎	(6) 950

臨床講座＝癌化学療法

急性白血病の化学療法 稲垣 治郎・小川 一誠	(5) 794
癌化学療法の原則 小川 一誠・室崎 志朗	(6) 946
肺癌の化学療法 井上 雄弘・小川 一誠	(7) 1118
胃癌の化学療法 名倉 英一・小川 一誠	(8) 1282
乳癌の化学療法 稲垣 治郎・小川 一誠	(9) 1450
悪性リンパ腫の化学療法 堀越 昇・小川 一誠	(10) 1616
悪性黒色腫の治療 江崎 幸治・小川 一誠	(11) 1782
ホジキン病の化学療法 江崎 幸治・小川 一誠	(13) 2358

外来診療・ここが聞きたい

休 載	(1)
腎尿管結石の follow up 基準 和久 正良・西崎 統	(2) 282
くり返す尿路感染症 和久 正良・西崎 統	(3) 438

不眠の訴え 伊藤 斉・西崎 統	(4) 610
マイナー・トランキライザー 長期連用の問題点 伊藤 斉・西崎 統	(5) 802
若年性高血圧 稲垣 義明・西崎 統	(6) 954
高齢者の高血圧 稲垣 義明・西崎 統	(7) 1122
赤血球増加傾向のとき 山口 潜・西崎 統	(8) 1286
白血球分画異常をみたとき 山口 潜・西崎 統	(9) 1454
高尿酸血症の及ぼす影響 佐々木智也・西崎 統	(10) 1610
右足関節痛、RA テスト(+)のとき 佐々木智也・西崎 統	(11) 1788
休 載	(13)

目でみる心筋梗塞／堀江 俊伸

連続切片からみた冠状動脈血栓	(1) 86
心電図所見と剖検所見の対比	(2) 242
心筋梗塞後の心室瘤	(3) 400
冠状動脈造影所見と組織像の対比	(4) 568
解離性大動脈瘤に続発した 心筋梗塞	(5) 752
川崎病に続発した心筋梗塞	(6) 904

medicina CPC

呼吸困難と高度の肝機能障害を 示した22歳男性の1剖検例 斉藤 久雄・山下 秀光 中村 嘉孝・村上 義次 太田 怜	(2) 296
全身リンパ節腫大、肝腫大、呼 吸困難を主訴とする39歳男の 例 亀井 徹正・竹越 國夫 井上 雄弘・坂本 穆彦 金上 晴夫	(4) 622
小児期から出血傾向を有する45 歳男の例 (CC) 久藤 文雄・赤塚 祝子 畑 隆志・高橋 隆一	(10) 1626

第143回呼吸器臨床懇話会

呼吸器疾患の臨床における形態 と機能 (その1) —症例を中心とした問題の解析 岡安 大仁・芳賀 敏彦 堀江 孝至・谷合 哲 杉田 博宣・松井 泰夫 田中 元一・関根球一郎 森成 元・可部順三郎 吉岡 一郎・河端 美則 岩井 和郎	(7) 1132
同上 (その2) 岡安 大仁・可部順三郎 芳賀 敏彦・岩井 和郎 吉岡 一郎・松井 泰夫 堀江 孝至・折津 愈	

田中 元一・杉田 博宣 河端 美則・大塚 盛男 穴戸 真司・関根球一郎	(8) 1300
---	----------

海外レポート／須永 俊明

アメリカにおけるプライマリー・ ケアと研修体系 (1)—General Medicine と Family Medicine	(6) 978
同上 (2)—Family Medicine 教 育の実際と Family Medicine Cli- nic でのトレーニング	(7) 1144

診療相談室

慢性骨髓性白血病急性転化の完 全寛解導入後の治療 山口 潜	(8) 1241
-------------------------------------	----------

他科のトピックス

医薬品による精神障害 融 道男	(1) 158
レーザーメスによる脳腫瘍の 手術 滝澤 利明	(2) 310
風疹生ワクチン —その特徴とポリシー 植田 浩司	(3) 452
子宮外妊娠の内視鏡的治療 柴田 直秀	(4) 644
人工血液の臨床応用—腎移植 本多 憲児	(5) 814
体外受精 鈴木 秋悦	(6) 966
子どもの自殺 稲村 博	(7) 1140
緑内障の薬物療法 —とくにβ遮断剤について 高瀬 正彌	(8) 1240
人工透析による精神病治療 金子 嗣郎	(9) 1464
リウマチの極低温運動療法 山内 寿馬・三浦 和也	(10) 1620
ポジトロン CT 館野 之男・穴戸 文男	(11) 1800
中枢神経系の内視鏡 福島 孝徳	(13) 2335

紫煙考

煙の科学 (1) 浅野 牧茂	(1) 154
同上 (2) 浅野 牧茂	(2) 293
喫煙と喉頭癌 佐藤 武男	(3) 462
タバコの排気ガス 外山 敏夫	(4) 640
ニコチンの薬理作用 柳田 知司	(5) 816
喫煙と脳卒中 家森 幸男・木原 正博	(6) 968
喫煙と免疫能低下 大成 浄志	(7) 1142
無煙国家づくりをめざして 福田 勝洋	(8) 1312
各国の喫煙・禁煙事情 福田 勝洋	(9) 1472
タバコと血流 浅野 牧茂	(10) 1638
タバコと消化管 梅田 典嗣	(11) 1804
愛煙家のつおやき 太田 怜	(13) 2368

天 地 人

寒翁が馬
タバコと健康問題
処方箋
仙人と錬金術
ある教授の言葉
なるべくなら
色香に迷う
国民的な才能
妙な理屈
女性と美しさ
モンテニユの旅
二足の草鞋

天 (1) 153
宙 (2) 309
北 (3) 455
万 (4) 635
地 (5) 819
天 (6) 971
人 (7) 1151
恵 (8) 1307
天 (9) 1467
越 (10) 1643
京 (11) 1807
浪 (13) 2371

オスラー博士の生涯／日野原重明・他

休 載 (1)
79. 傷心のうちにもオスラー文
庫の目録作りにはげむ (1918
年) (2) 312
80. "Aequanimitas" (3) 456
81. 本と人 Books and Men
—1910年1月 Boston Medical
Library の落成記念講演 (4) 636
82. オスラーの最後の文化講演
(1818年) (5) 820
83. オスラー最後の文化講演
(古典協会長として, 1919年) (6) 972

84. 教えることと考えること
—医科大学における2つの機能 (7) 1152
85. 満70歳の誕生日を迎えて
(1919年) (8) 1308
86. オスラーの最後の社会的活
動 (1919年) (9) 1468
87. オスラーの宿病との闘い
(1919年) (10) 1644
88. 医学の座右銘 (The Master-
word) (その1)
—医学生へのメッセージ (11) 1808
89. オスラーの医学生へのメッ
セージ—医学の座右銘 (その2) (13) 2372